

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第136号



2018年1月24日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



## 合宿講義 No. 2 忸度しない女性ジャーナリスト by 山本裕さん

## 6・9行動に16名参加!

今年初めての6・9行動となった1/6、土曜日という事でメタセコイヤ広場に16名が集まり、1時間で43筆の署名を集めました。

昨年7月の、核兵器禁止条約と、11月のICANのノーベル平和賞受賞を受け、市民からいまままでにない良い反応が見られます。

今年は新年から、金正恩氏とトランプ氏の、核のボタンを巡る激しい応酬があった一方で、北朝鮮が平昌オリンピックへの参加を表明したのに続き、韓国との軍事会談を開催する動きもありました。

原水協の長野事務局長は、民主団体の旗開きに精力的に参加しています

また1/8は、横須賀市民九条の会が、新成人向けのスタンディングを行いました。不入斗橋バス停に集まった20人は、横断幕やブラカードを手に新成人にアピールし、署名も4筆集まりました。この場所での宣伝は2度目ですが、駐車場の地主が出てきて「私有地に入るな」「趣旨が違うので、道路でもやるな」と言うなどの反応もありました。また現役自衛官が、「自分たちが戦争に行くような事はない」「憲法に自衛隊を規定して欲しい」と発言するなど、まだまだ宣伝が足りないと感じさせられる一幕もありました。

新聞に次のような記事が載りました。「質問にまともに答えようとしない菅官房長官を粘り強く追及する東京新聞の望月衣塑子記者の質問について、首相官邸報道室は東京新聞を文書で“注意”しました。質問内容を“注意”するという異例の事態。」

望月記者は「武器輸出と日本企業」(角川新書)の著者であり、最近出た「新聞記者」(同)では自身の“記者魂”を記しています。NHKや大手メディアの安倍政権に対する、およそジャーナリズムとは思えない忸度の姿勢には目を覆いたくなります。しかし、望月記者の権力者に厳しく対峙する姿勢には、逆に拍手を送りたくなります。

いま、女性の尊厳を守るため、世界中でセクハラを告発する運動が巻き起こっています。日本でもジャーナリストの伊藤詩織さんが勇気をもって立ち上がりました。「新聞記者」の中で、望月記者は伊藤さんのセクハラ事件を記しています。権力者に忸度しない女性ジャーナリストたちに激励の拍手を!



## 18春闘スタート!

1/7のYデッキ宣伝は、18春闘ピラと、春闘アンケートを配布しました。18春闘は、大幅賃上げで「8時間働けば暮らせる」賃金をかちとるとともに、安倍九条改憲阻止や、「働き方改革」の阻止が重点課題となります。新年早々に、北朝鮮と韓国の会談が実現し、北朝鮮が平昌オリンピックに参加の意向を示す一方で、核のボタンをめぐるアメリカとの応酬もあり、予断を許しません。また安倍首相は、福袋を買い求める行列を、アベノミクスの成果と述べる呑気さです。